

いわての福祉団体を紹介!

岩手手話通訳問題研究会

岩手手話通訳問題研究会(岩通研)は、昭和61年に設立された団体で、全国手話通訳問題研究会の岩手県支部です。今回は、事務局長の七木田かおるさんにインタビューをしました。

Q どんな団体?

「手話」は、一言で言うことが難しい分野です。手話を使う人や知らない人、学ぶとかボランティアとか、手話は、人との関わりが絶対必要です。名前は堅苦しいですが、学習や研究、啓蒙などいろいろな活動を行っています。

Q 力を入れている活動は?

人との関わりを持つ活動を大事にしています。同じ手話を学ぶ人でも、手話に関わっている時間(期間)はバラバラです。顔の見える距離で関わり合うことをメインに、人とのつながりを大切にして活動しています。

Q 活動の課題や難しさは?

① 健康と学び

手話をするときに、頭の中を日本語から手話言語に置き換えるのと同時に、運動神経も使います。一方、聞こえない人は、日本語に近い手話に置き換えて会話をする傾向があります。「頸肩腕症候群(症状:首・肩・腕の痛み

やしひれなど)」について理解を深め、手話をする人の健康を守ることと、手話は日本語とは別の独自の言語であることを学ぶこと。2つの継続的な課題があります。

② 人材不足

最近は、20代の会員が少ないです。40代で子育てが終わってから始める方もいますが、何かのきっかけで一気に減るんです。だから、年齢だけじゃなく、経験値も含めて人材不足です。

Q 今後の目標は?

聞こえる、聞こえないに関係なく、全ての人が平等に暮らせる社会を目指していきたいです。その人が必要だと思ったときに、各方面でどんどん活動してもらいたい。それがその地域のより良い社会を作るための大きな一歩になります。若い人だけじゃなくて、今から手話を始めようとする人も同じで、人との関わりに臆さない人が増えてくれればいいなと思います。

■ Mail : gan2ken.info@gmail.com

■ 担当 : 七木田 かおる

■ もっと知りたい方は、岩通研のFacebookもご覧ください!

TOPIX

役員就任のお知らせ

岩手県社会福祉協議会は、欠員となっている理事及び評議員を選任するとともに、令和4年6月30日付で退任した新屋浩二専務理事の後任に、高橋進理事を7月11日付で選定しました。

●評議員

赤前 大輔

(岩手県教育委員会事務局学校教育室学校企画調整担当課長)

及川 公子

(特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会会長)

藤田 芳男 (一般社団法人岩手県経営者協会専務理事)

●理事

岡田 久 (市町村社会福祉協議会部会理事)

高橋 進 (岩手県社会福祉協議会事務局長)



新任職員紹介

岩手県社会福祉協議会・ふれあいランド岩手に次の職員が配置されました。どうぞよろしくお願いします。

●事務局

高橋 進 事務局長 (7月1日付)

●ふれあいランド岩手

高橋 誠 副館長 (6月16日付)

八重樫 壮 スポーツ指導員 (6月1日付)

皆様のご支援ありがとうございました

被災者支援、災害ボランティア活動をはじめ本会事業推進のため、ご寄付いただき感謝申し上げます。(敬称略)

● 東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社盛岡駅

ミネラルウォーター (5月24日)

● 岩手県遊技業協同組合

200,000円 (5月25日)

● 名郷根 法育

3,000円 (6月21日)

